使用する前に

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。
必ずお読みください。

Windows Me/98/95を使用しているとき

次の手順で本製品のハードウェア情報を登録してください。

※ Windows95ではバージョンによって手順が一部異なります。次の手順で事前にバージョンを確認してください。
① [ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ] アイコンにマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。
② 表示されたメニューの [ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)] をクリックします。
③ [ｼｽﾃﾑ:] に表示された文字列を確認します。この文字列がバージョンを表します。
バージョンは、4.00.950 / 4.00.950a / 4.00.950 B / 4.00.950 C の4種類あります。

1 [コントロール パネル] を開き、[画面] アイコンをダブルクリックします。

2 [設定] タブ（Windows95では [ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの詳細] タブ）をクリックします。

Windows95(4.00.950/4.00.950a)の場合

① [ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの変更(T)] ボタンをクリックします。
② [ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの種類(M)] の [変更(N)] ボタンをクリックします。

WindowsMe、98、95(4.00.950 B/4.00.950 C)の場合

① [詳細] ボタンをクリックします。
② [モニター] タブをクリックします。
③ [変更(C)] ボタンをクリックします。

3 付属の「Utility Disk」をフロッピーディスクドライブにセットします。

4 [ディスク使用(H)] ボタンをクリックします。

5 [参照(B)] ボタンをクリックします。

6 [ファイル名(N)] から「FTDAS.inf」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

7 [配布ファイルのコピー元] に「A:\」（下線部はフロッピードライブです）と表示されていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。

8 [モデル(L)] に表示されたモニター名から「MELCO INC.＜製品名＞」を選択して [OK] ボタンをクリックします。（＜製品名＞には、お求め頂いた製品名が入ります）

以上で設定は完了です。FTDの設定メニューで調整してから使用してください。【P12】

Windows2000を使用しているとき

次の手順で本製品のハードウェア情報を登録してください。

1. Windows2000を起動し、administratorでログオンします。
2. [コントロール　パネル]を開き、[画面]アイコンをダブルクリックします。
3. [設定]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。
4. [モニタ]タブをクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。
5. [ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。
6. [デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始]画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。
7. [このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する]を選択し、[次へ>]ボタンをクリックします。
8. 付属の「Utility　Disk」をフロッピードライブにセットします。
9. [ディスク使用]ボタンをクリックします。
10. [配布ファイルのコピー元]にA:\(下線部はフロッピードライブです)と入力し、[OK]ボタンをクリックします。
11. [モデル]に表示されたモニター名から「MELCO　INC.＜製品名＞」を選択し、[次へ>]ボタンをクリックします。

    ＜製品名＞には、お求め頂いた製品名が入ります。
12. [デジタル署名が見つかりませんでした]というダイアログが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

    ※ マイクロソフト社によってWindows2000上での動作が確認されたソフトウェアには、デジタル署名が付けられています。2002年05月現在、本ソフトウェアにはデジタル署名が付けられていませんが、製品は正しく動作します。
13. [完了]ボタンをクリックします。
14. [閉じる]ボタンをクリックし、[プロパティ]を閉じます。
15. [OK]ボタンをクリックし、ドライバのウィンドウを閉じます。
16. [OK]ボタンをクリックし、[画面のプロパティ]を閉じます。

以上で設定は完了です。FTDの設定メニューで調整してから使用してください。【P12】

WindowsNT、Windows3.1/DOSを使用しているとき

WindowsNT、Windows3.1/DOSを使用している場合は、ハードウェア情報の登録作業は不要です。FTDの設定メニューで調整してから使用してください。【P12】

WindowsXPを使用しているとき

次の手順で本製品のハードウェア情報を登録してください。

1 WindowsXPを起動します。

2 [コントロール　パネル]を開きます。[クラシック表示に切り替える]をクリックし、[画面]アイコンをダブルクリックします。

3 [設定]タブをクリックし、[詳細設定]ボタンをクリックします。

4 [モニタ]タブをクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。

5 [ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。

6 [ハードウェアの更新ウィザードの開始]画面が表示されたら、[一覧または特定の場所からインストールする]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。

7 [検索しないでインストールするドライバを選択する]をクリックし、[次へ>]ボタンをクリックします。

8 付属の「Utility Disk」をフロッピードライブにセットします。

9 [ディスク使用]をクリックします。

10 [製造元のファイルのコピー元]にA:\（下線部はフロッピードライブです）と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

11 [モデル]に表示されたモニター名から「MELCO　INC.　＜製品名＞」を選択し、[次へ>]ボタンをクリックします。

＜製品名＞には、お求め頂いた製品名が入ります。

12 [このハードウェア…（中略）…Windowsロゴテストに合格していません]というメッセージが表示されたら、[続行]ボタンをクリックします。

※ このドライバの動作テストは弊社にて行っています。2002年05月現在、このドライバに対してマイクロソフト社のロゴテストは行われていませんが、製品は正常に動作します。

13 [完了]ボタンをクリックします。

14 [閉じる]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

15 [OK]ボタンをクリックし、[画面のプロパティ]ウィンドウを閉じます。

以上で設定は完了です。FTDの設定メニューで調整してから使用してください。【P12】

Macintoshを使用しているとき

Macintoshを使用している場合は、特別な作業は不要です。FTDの設定メニューで調整してから使用してください。【P12】

FTDの仕様について

- TFT液晶パネルは、精密な技術に基づいて製造されています。パネル内に画素欠け（黒点）や常時点灯する点（輝点）が存在することがありますが、製品の欠陥や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

- 画面に表示される縞模様（モアレ）について

  2～3色のドットを平行に隣接したパターンや格子状のパターンを表示させると、画面上に「モアレ」とよばれる縦縞の干渉模様が表示されることがあります。これは発光色が相互に干渉することにより発生するもので、故障ではありません。縞模様が表示されたときは、最適な画質を得るために「画面に縞模様（モアレ）が生じる／ノイズが出る」【P16】を参照して画面表示の調整を行ってください。

- 本製品の推奨解像度は、1024×768ドット（XGA）です。

- 静止画を長時間表示すると、画面表示を切り換えても静止画の残像が残る「焼き付き現象」が生じることがあります。

  OSのスクリーンセーバー機能などを使用して、静止画を長時間表示しないようにしてください。
  白い画面を長時間表示すると直ることがあります。

- 「スムージング機能」について

  全画面表示に設定している場合に1024×768ドット未満の解像度に設定すると、画面が拡大されてフルスクリーン表示になります。

  このとき、文字やグラフィックをなめらかに表示するために、本製品は自動的に中間色を使った補完処理を行います（スムージング機能）。文字やグラフィックがにじんだように見えることがありますが、故障ではありません。

  また、白地に黒文字を表示すると見づらいときは、コントラストを調整してください。【P13】

表示例



スムージング機能あり　　スムージング機能なし

- パワーセーブ機能について

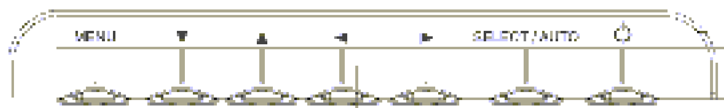
  電力消費を押さえるため、一定時間パソコンを操作していない場合に自動的にパワーセーブ機能が働きます。
  パワーセーブ機能が働くと、電源表示LEDがオレンジ色に点灯して画面表示が消え、音声も出力されなくなります。パワーセーブ機能が働いている状態では、消費電力は3W以下になります。
  マウスを動かしたりキーボードのキーを押せば、通常の動作状態に戻ります。

  ※ パワーセーブ機能は、DPMS（VESA）機能を搭載するパソコンに接続し、省電力モードに設定されている場合にのみ働きます。

画面の調整 OSD機能を使って画面表示を調整します。

調整のしかた

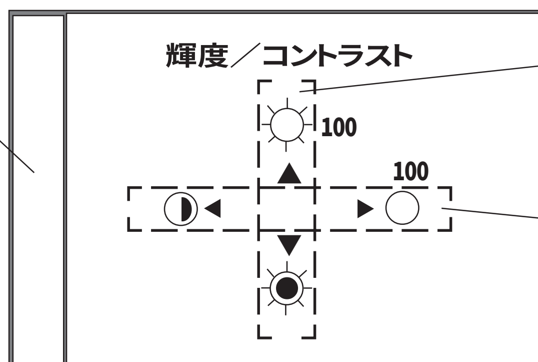
※ 次の作業を始める前にFTDをパソコンに接続し、周辺機器（FTDを含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにしておいてください。



ボタン名称	シンボル	機能
メニュー開く、閉じる	MENU	・ OSD設定メニューを開きます。 ・ OSD設定メニューを閉じます。
選択された項目を決定、 自動調整ホットキー EXIT	SELECT ／AUTO	・ OSD画面開いた状態で、項目の選択を決定します。 ・ OSD画面閉じた状態時、自動調整（画面調整と色調整）を実行します。 ・ サブメニューからメインメニューに戻ります。
パワーボタン	⏻	・電源のON／OFFを行います。
項目の選択， 数値設定ボタン 音量のホットキー	▶	・右方向に項目を選択します。 ・数値設定の変更を行います。（数値上昇） ・メニューが開いていないとき、スピーカの音量調整を行います
項目の選択， 数値設定ボタン 音量のホットキー	◀	・左方向又は下方向に項目を選択します。 ・数値設定の変更を行います。（数値下降） ・メニューが開いていないとき、スピーカの音量調整を行います
項目の選択ボタン 輝度/コントラストの ホットキー	▲	・ 上方向に項目を選択します。 ・メニューが開いてない時、輝度／コントラスト調整を行います。
項目の選択ボタン 輝度/コントラストの ホットキー	▼	・下方向に項目を選択します。 ・メニューが開いてない時、輝度／コントラスト調整を行います。

＜輝度／コントラストの設定例＞

ここに設定項目がアイコンで表示されます。
▼▲キーで移動でき、選択したい項目で、SELECT/AUTOボタンを押せば、設定を行えます。



▲▼ボタンで値を調整します

◀ ▶ボタンで値を調整します

次の手順で調整します。

1 MENUボタンを押して設定メニューを表示させます。

2 ▼または▲を押して項目を選択します。
（「カラー調整」の色はMENUボタンで選択します）

3 SELECT/AUTOボタンを押して調整する項目を決定します。
選択を取り消す（前の状態に戻る）ときは、もう一度SELECT/AUTOボタンを押します。

4 ▼／▲または ◀ ／ ▶ を押して設定値を変更します。

5 MENUボタンを押して、設定メニューを閉じます。

項目	内容	設定範囲
輝度／コントラスト		
輝度	画面の明るさを調整します	0～100
コントラスト	画面の濃淡を調整します	0～100
画面調整		
自動調整	フェーズ、クロック、画面の位置を自動調整します	--
クロック（*1）	画面に縦の縞模様（モアレ）が出る場合に調整します	0～100
フェーズ（*1）	画面にノイズが出る場合や、文字などの輪郭がぼやける場合に調整します	0～100
画面位置調整		
水平位置	画面の水平方向の位置を調整します	0～100
垂直位置	画面の垂直方向の位置を調整します	0～100
色調整		
自動色調整	色合いを自動で調整します	ー
色温度 ー 9300K	画像の白色部分が赤味を帯びていたり、青味を帯びているときに調整します。印刷時やフォトレタッチ時など用途の合わせて調整してください。	ー
色温度 ー 6500K		ー
赤	赤の量を調整します	0～100
緑	緑の量を調整します	0～100
青	青の量を調整します	0～100
音量		
	スピーカの音量を調整	0～100
その他		
言語（*2）	OSD設定メニューの表示言語を選択します	日本語、英語
OSD位置調整	OSD設定メニューの表示位置を調整します	ー
表示情報	画面がリフレッシュされた時や（Windows起動時等）解像度切替時に、画面解像度・周波数をウインドウ表示します。	ON、OFF
リセット	全項目の設定を出荷時の状態に戻します	ー

*1 自動調整を行っても満足のいく表示が得られなかった場合にだけ、手動で設定してください。

*2 OSやアプリケーションで使用する言語は変更されません。

自動調整のしかた

FTDは、最適な画面表示が得られるよう自動的に調整を行う機能を搭載しています。
初めてFTDをパソコンに接続したときなどは、まず自動調整を行ってください。

※ MS-DOSプロンプトなど黒色部分が多い画面やアプリケーション画面などを表示した状態で自動調節を行っても、十分な効果が得られないことがあります。Windows(3.1を除く)をご使用の方は、付属ディスク「Utility Disk」に収録されているプログラムLCDADJ.EXEを実行し、画面調整用の画像を表示させてから自動調整を行うことをおすすめします。Windows3.1を使用している方は、1ドットずつの白黒市松模様など調整に適した画像を作成し、表示されることをおすすめします。

1. 周辺機器（FTDを含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにします。

2. 「Utiltity　Disk」をフロッピードライブに入れ、LCDADJ.EXEを実行します。
画像（画面いっぱいにグレーの色が表示されたように見えます）FTDのAUTOボタンを押します。
自動調整が行われます。
※ Macintoshの場合はOSが起動し、画面表示が静止したらAUTOボタンを押してください。
※ 調整には数秒かかります。その間は設定メニューの操作はできません。自動調整を行っても満足のいく表示が得られなかった場合にだけ、手動で調整してください。

困ったときには

本製品の使用時に起こりうるトラブルの内容と対処方法を説明しています。これらの確認を行っても正常に動作しないときは、弊社インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

画面に何も表示されない

原因① ▶ ディスプレイケーブルと、ディスプレイまたはグラフィックボードとの接触不良が考えられます。

原因② ▶ パソコンに取り付けたグラフィックボードの接触不良が考えられます。

原因③ ▶ パソコンに取り付けたメモリの接触不良が考えられます。

対応①〜③ ▶ パソコンの電源スイッチをOFFにしてからグラフィックボード、ディスプレイケーブル、メモリを接続し直してください。



電源スイッチがONのままディスプレイケーブルや電源ケーブルを抜き差ししないでください。本製品を破損する場合があります。

原因④ ▶ 明るさが最も低い状態に設定されている可能性があります。

対応④ ▶ 設定メニューの[輝度]で画面の明るさを調節してください。【P13「輝度」】

原因⑤ ▶ 電源がOFFまたはサスペンドモードになっている可能性があります。

対応⑤ ▶ 電源表示LEDが消えているときはFTDの電源がOFFになっています。電源ボタンを押してONにしてください。
電源表示LEDが緑色で点滅しているときは、サスペンドモードになっています。キー入力やマウスを動かすなどの操作を行って、サスペンドモードから復帰してください。

原因⑥ ▶ FTDが対応していない解像度が選択されています。

対応⑥ ▶ 表示モードの設定時に、FTDが対応していない垂直周波数(Refresh Rate)を選択しないでください。【P19「対応表示モード」】
万一、対応外の周波数を選択してしまった場合は、画面に何も表示されなくなったり、表示が乱れたりします。(インターレースの場合は画面が分割されるなど、正常な表示が行えません)。その場合は次の方法で正しい周波数を選択し直してください。

<Windows98/95/Me/Xpの場合>
Windowsをセーフモードで再起動し、選択可能範囲の周波数を選択し直してください。

<Windows2000/NTの場合> WindowsをVGAモードで再起動し、使用可能範囲の周波数を選択し直してください。

<Windows3.1の場合> DOS上でSETUP.EXEを起動し、ドライバにVGAを選択してからWindowsを再起動してください。再起動後、使用可能範囲の周波数を選択し直してください。

※設定可能な垂直同期周波数は、「対応表示モード」【P19】で確認してください。
パソコンに取り付けているグラフィックボード(パソコン内蔵のもの含む)によっては、設定可能範囲以外の数値(例:90Hz、100Hz)を選択できる場合がありますが、必ず本製品の対応周波数の範囲内【P19】で選択してください。

Windowsの画面でタスクバーが表示されない

原　因 ▶ 仮想スクリーンモードで、画面の下側が表示領域の外に出ています。

対応① ▶ マウスカーソルを画面の一番下に移動すると、画面全体がスクロールしてタスクバーが表示されます。

対応② ▶ 仮想スクリーンモードを使用しないようにするときは、次の操作を行って解像度を下げてください。

1. デスクトップ上でマウスの右ボタンをクリックします。表示されたメニューから[プロパティ(R)]を選択します。
2. [画面のプロパティ]ダイアログボックスが表示されたら、[設定]タブ(Windows95/NT4.0の場合は[ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの詳細]タブ)をクリックします。
3. [画面の領域](Windows95/NT4.0の場合は[ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ領域])のスライドバーをドラッグして移動させ、解像度を下げます。

画面に縞模様(モアレ)が生じる／ノイズが出る

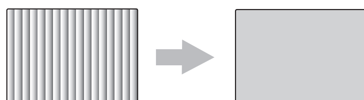
2〜3色のドットを平行に隣接したパターンや格子状のパターンを表示すると、モアレと呼ばれる干渉縞が生じます。

原　因 ▶ [フェーズ]と[クロック]が正しく調整されていません。

対応① ▶ Windows(3.1を除く)をお使いの方は、本製品付属のプログラムで、調整用の画面を表示できます。次の手順で調整してください。

※ 次の操作は、使用する解像度、垂直周波数(Refresh Rate)で行ってください。

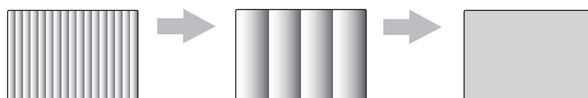
1. FTD付属の「Utility Disk」をフロッピーディスクドライブにセットし、ディスク内のLCDADJ.EXEを起動します。
2. FTDのAUTOボタンを押します。
   自動的に画面表示が調整されます。調整には数秒かかり、その間は設定メニューの操作はできません。



正しい画面状態

自動調整を実行しても縞模様が解消されないときは、続いて次の操作を行います。

1. FTDのMENUボタンを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. ▲/▼ボタンを押して「画面調整」を選択し[SELECT]ボタンを押します。
3. ▲/▼ボタンでクロックを選択し、◀ または ▶ ボタンで値を変え、最適な表示になるように調整します。



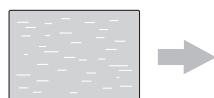
正しい画面状態

波模様のない状態にしてください。

次のページへ続く

4 ▼/▲ボタンを押して、[フェーズ]を選択します。

5 ◀/▶ボタンを押して最適な画面表示になるように調整します。



ノイズのない状態にしてください。

正しい画面状態

6 SELECTボタンを押し、MENUボタンを押します。
変更した設定内容が保存され、設定メニューが終了します。

7 リターンキーなどの任意のキーを押すか、マウスのボタンをクリックします。

LCDADJ.EXEが終了し、通常のWindows画面が表示されます。

対応② ▶ デスクトップパターン(壁紙)にモアレが生じるときは、各OSのヘルプを参照してデスクトップパターンを変更してください。

ノイズが出ないよう調整したにもかかわらず、アプリケーション実行時に画面が乱れることがある(特に動画再生時)

原　因 ▶ 画面の調整中に、ノイズが解消できるポイント(設定メニューの[フェーズ])の設定値が2箇所ある場合があります。2つの解消ポイントでの画面表示は同じように見えるため、どちらを設定値に選んでもノイズは除去できたように見えますが、設定値が異なるため、調整後のアプリケーション画面でノイズが発生することがあります。
その場合は、選択したポイント以外のポイントを選択し直す必要があります。

対　応 ▶ 再度設定メニューの[フェーズ]でノイズを除去する設定を行ってください。このとき、一度出荷時設定に戻すと設定しやすくなります。

※ 出荷時設定に戻すには、設定メニューで画面情報を選択してMENUボタンを押します。出荷時設定に戻した場合、画面のサイズや位置など全ての項目が出荷時の状態に戻りますので、ご注意ください。必要ならば他の設定項目も再設定してください。

自動調整で思い通りの結果が得られない

原　因 ▶ 調整中の画面表示が適切でない

対　応 ▶ 調整結果は、実行の際に表示されている画面に影響されます。
もっとも効果的なのは、1ドットずつの白黒市松模様が全体に表示された画面です。
DOSなどの黒い部分が多い画面や、アプリケーション画面では十分な効果が得られない場合がありますのでご注意ください。
Windows(3.1を除く)をご使用の方は、付属ディスク「Utility Disk」に収録されているプログラムLCDADJ.EXEを実行すれば、この画像が表示されます。Windows3.1をご使用の方は適切な画像を作成し、表示されることをおすすめします。

上記の対策を行っても、画像信号の状態によっては(複数に分岐している、ノイズが発生している、など)十分な結果が得られないことがあります。あらかじめご了承ください。

製品仕様

パネル	15型　カラーTFT液晶
解像度（最大）	XGAサイズ（1024×768ドット）
表示面積	304.1(H)×228.1(V)㎜
ドットピッチ	0.297(H)×0.297(V)㎜
色数（最大）	1619万色
輝度（平均）	250cd/㎡
コントラスト比（平均）	350:1
視野角度（平均）	上50°下50°　左 65°右 65°
入力信号方式	アナログRGB
入力端子	D-sub 15ピン（ミニ、3列タイプ）
DDC	DDC 1/2B
対応周波数	次ページ「対応表示モード」参照
電源	100V AC±10%　50/60Hz
スピーカ	出力1W（最大）×2
消費電力（最大）	30W（省電力モード時:3W以下）
外形寸法（本体のみ）	348(W)×339(H)×182(D) ㎜
重量（本体のみ）	4.1kg
動作環境	温度　10～35℃　　湿度　結露無きこと

※ D-sub15ピン（3列）のアナログRGBコネクタを装備していない機種でFTDを使用するときは、市販の変換コネクタを別途用意してください。

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。

OSD機能について

OSDとはオンスクリーン ディスプレイの略称です。
ディスプレイ表示に関する設定項目の選択やその調整の度合いを、実際にディスプレイ上に表示させて確認しながら調整するための機能です。
画面の表示サイズや表示位置、明るさ、コントラストなどを設定できます。

対応表示モード

本製品は次の表示モードに対応しています。

ビデオ信号	解像度	ドットクロック(MHz)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
VGA	640×350	25.2	31.5	70
VGA(PC-98)	640×400	25.2	31.5	70
VGA	640×480	25.2	31.5	60
VGA	720×400	28.3	31.5	70
VESA VGA	640×480	31.5	37.9	72
VESA VGA	640×480	31.5	37.5	75
VESA SVGA	800×600	36.0	35.2	56
VESA SVGA	800×600	40.0	37.9	60
VESA SVGA	800×600	50.0	48.1	72
VESA SVGA	800×600	49.5	46.9	75
VESA XGA	1024×768	65.0	48.4	60
VESA XGA	1024×768	75.0	56.5	70
VESA XGA	1024×768	78.8	60.0	75
XGA	1024×768	78.4	57.7	72
MAC13″ MODE	640×480	30.2	35.0	67
MAC16″ MODE	832×624	57.3	49.7	75
MAC19″ MODE	1024×768	80.0	60.2	75

※ 1024×768ドットでの使用をおすすめします。

※ 垂直周波数が60Hzの表示モードで使用されることをおすすめします。

※ 上記以外の信号でも表示できることがあります。

※ 上記の信号でも、最適な画面表示を得るためには調整が必要です。

液晶ディスプレイの特性

液晶ディスプレイには次のような特性があります。

・色純度の劣化　白黒反転表示や明るい画面で長時間使用を続けると、色純度が劣化することがあります。その場合は輝度を調整してください。

・焼き付き　静止画を長時間表示すると、画面表示を切り換えても静止画の残像が残る「焼き付き現象」が生じることがあります。スクリーンセーバー機能などを使用し、静止画を長時間表示しないようにしてください。

FAX NO. 052-619-1830　株式会社メルコ　インフォメーションセンター行

※ FAXでのお問い合わせには、この問い合わせ票をご使用ください。

液晶ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ問い合わせ票

お問い合わせ日　　　年　　月　　日

ﾒﾙｺ製品名（保証書などをご参照ください） ＦＴＤ－ (ｼﾘｱﾙNO　　　　　　　　　　)	
使用ﾊﾟｿｺﾝ： ﾒｰｶｰ:	
解像度	表示状態
640x480	
800x600	
1024x768	
起動時	
ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｱﾀﾞﾌﾟﾀ	
現象：	
使用OS：　Ver.　ｻｰﾋﾞｽﾊﾟｯｸ：	
使用ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝｿﾌﾄ	
詳細：　(別紙 有・無)	

貴社名		ご氏名	
ご住所		ＴＥＬ	
		ＦＡＸ	

平日9時～17時にご連絡可能な電話番号を明記頂ければ幸いです。

MEMO

MEMO

■保証書について

本製品には、保証書が添付されております。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、保証期間、製品名および製品シリアルNo.が記載されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。

※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合でも、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ(本書裏表紙参照)にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先 [氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
② 平日昼間の連絡先 [氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状 / エラーメッセージ
⑦ 発生状況 [始めから/ある日突然/環境を変えたら]
⑧ 発生頻度 [必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他]
⑨ コンピュータ [本体メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑩ ハードディスク [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑪ ディスプレイ [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑫ その他周辺機器 [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑬ OS(オペレーティング・システム) [ソフト名/メーカ名/バージョン]
⑭ 製品以外の添付品 [付属ソフトなど]

製品送付先	〒457-8520	名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ 修理センター宛
電話番号	052-619-1289	

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター(裏表紙に記載)へお願いします。

※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断り致します。

※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社は責任を負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。

※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

※ ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送りいただく際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。

※ 修理期間は、製品の到着後７日程度（弊社営業日数）を予定しております。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

FTD-X15ASユーザーズマニュアル

2002年7月25日 初版発行
発行 株式会社メルコ

この装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域に置いて使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。
しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機等に近接してご使用になると、受信障害の原因になることがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
本製品は電波雑音規格VCCI二種に適合しておりますが、誤った使用をされた場合は保証しかねますので下記の点に注意してください。

- 電源コードは必ず付属品をお使いください。
- 信号ケーブルは本書に従い、必ず付属のディスプレイケーブルをお使いください。
- 電源のアースは必ず接地してください。
- 本体の内部およびケーブルの改造はしないでください。

この装置はFCC規則パート15に従うクラスBデジタル機器に対する限度値に適合することが、試験の結果認められています。これらの限度値は住宅地域での据付けにおいておこる有害な妨害に対し、適切な保護を与えるために設けられています。本装置は無線周波エネルギーを発生し、利用し、かつ放射することがあります。また指導マニュアルに従わずに取りつけまたは使用する場合は、無線通信に対する有害な妨害の原因となり得ます。しかしながら、ある特殊な取り付けにおいてそのような妨害が引き起こされないであろうという保証はありません。もし、当装置がラジオまたはテレビ受信への有害な妨害の原因となっており、その妨害が当装置をオン及びオフにすることによって確認できる場合は、お客様は以下の対策をひとつ以上利用して妨害を是正するよう試みることをお勧めします。

- 受信アンテナを向け直すか配置し直す
- 本装置と受信機の間を広げる
- 受信機が接続されている回路と異なる回路上のコンセントに当該装置を接続する
- ディーラー経験のあるラジオ／TV技術者に助言を求める

本製品の規格に関して



弊社は、国際エネルギースタープログラムへの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

弊社製品の情報は次の方法で入手できます


インターネット

製品情報　http://www.melcoinc.co.jp/
サポート情報　melinf.jp


製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ ハイテクセンター内
本製品のサポートは下記で承っております。

<東　京>　03-5326-3753
月～金 9:30～19:00
土　9:30～12:00/13:00～17:00

<名古屋>　052-619-1188
月～金 9:30～17:00　※祝日を除く

※ 事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- コンピュータ名と使用OS
- 本製品の製品名とシリアルナンバー
- 現象（具体的なエラーメッセージなど）

※ 受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は弊社ホームページでご確認ください。